



## はじめまして

### 西山さま

おとうさん  
孝さま  
おかあさん  
美香さま  
赤ちゃん  
樹(たつき)ちゃん  
平成22年1月20日生  
2,648g 男の子



初めての出産で、妊娠中から「お腹の赤ちゃんが小さい」と言われて、妊娠後期は不安になることが多かったです。小さいながらもお腹の中ではいつも元気に動いていてしゃっくりをよくする子でした。  
いざ、出産になると入院してからもなかなか陣痛がこず、促進剤や子宮に風船を入れやっとなら陣痛はとても長く辛いものでした。  
その時に支えてくれた母、スタッフの皆様、先生、夫がとても心強く陣痛の時に背中をさすってくれたことで一緒に頑張っている気がしました。本当に感謝しています。  
お腹の中で一緒に頑張ってくれた我が子をこれから大切に元気な子に育てていきたいです。

## 私の好きな風景



まだ春浅い頃、大学から太陽に照らされた雪深い白山が眺められる。  
若い時には毎年のように登っていた白山は、最近の体力の衰えて、四季を通じて変化する山を眺めて楽しむだけになってきた事に寂しさを感じる

(撮影:中谷 渉)

## 編集後記

病院ニュースは創刊されて17年目を迎えることができました。私は当初より編集に参画させて頂いておりますが、ここまで災禍なくやってこられたのもこれもひとえに患者さま、そして編集を支えて下さる委員の皆様のおかげと存じます。  
この17年間、医療行政を取り囲む経済環境は決してよい状態ではありません。しかし、学校法人金沢医科大学理事長山下公一、病院長飯塚秀明、以下医師、スタッフの患者さまの病態が少しでも良くなって頂きたいという熱い思いは変わっておりません。  
今後も患者さまにとって安全・安心で心のこもった質の高い医療と共に病院の情報を提供させて頂きます。

伊藤 透

院内にご意見箱を設置しております。みなさまの「声」をお聞かせください。



## 病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さまの権利

当院は、医療の中心は患者さまであると認識し、患者さまには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報には厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

## 患者さまへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さまには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さまの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

Motto いつでも 誰でも 安心してかけられる病院

あなたに贈る健康へのメッセージ—— 知ってください病院のこと、身体のこと

# 医科大どおり

2010  
春  
第16巻  
第1号

【巻頭】2010 季刊誌第16巻第1号 発行/金沢医科大学病院

編集/金沢医科大学病院二コー入編集委員会



大聖寺の流し舟(イメージ)



## 金沢医科大学病院

## 病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。



# 内分泌・代謝科 糖尿病特集 ～インクレチン療法～



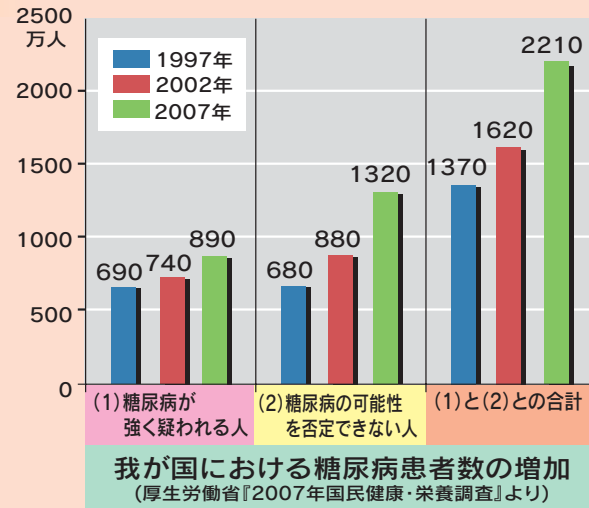
内分泌・代謝科  
教授 古家 大祐

## 1 内分泌・代謝科の担当領域と特徴

糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症などの代謝異常、下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎などホルモンを分泌する臓器(内分泌臓器)の疾患が内分泌・代謝科の担当です。代謝疾患は肥満を伴い生活習慣の改善が重要であることも多く、内分泌疾患ともに、患者さんの生涯を見据えた長期の治療が必要です。

## 2 糖尿病, 静かに進む重大な合併症!

なかでも、患者さんの数が最も多いのが糖尿病です。2007年の厚生労働省の調査でも、日本全体で予備軍を併せた糖尿病の可能性のある人は2210万人と推定され、年々増加しています。血液中ブドウ糖濃度(血糖値)が上昇するのが糖尿病で、血糖値の上昇が著しければ尿量増加・喉の渇き・倦怠感などが出現しますが、それ程でなければ症状はほとんどありません。しかし、症状がなくとも血糖値が治療目標に達しないまま5年、10年が経過すると、失明や腎不全、足切断などの原因となる合併症が静かに進行し、脳梗塞や心筋梗塞の危険性も高まります。治療目標達成には、定期的に通院していただき、食事・運動療法のうえ、必要に応じて適切な薬物療法が行われます。



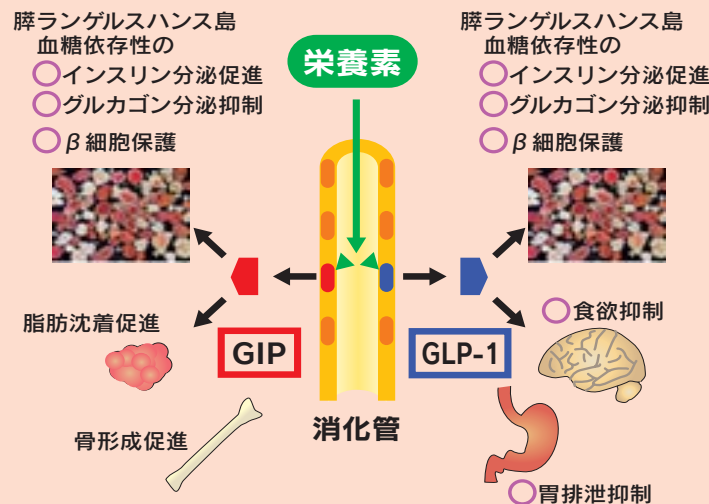
## 3 全く新しいタイプの糖尿病治療薬の登場

これまで糖尿病のお薬については次のような問題点が挙げられてきました。

- 1) 厳格な治療を目指すとも血糖が下がり過ぎる(低血糖)
- 2) 長期の使用により効果が弱くなる場合がある
- 3) お薬によっては体重が増加する

昨年12月、従来の薬剤とは全く異なるタイプの新しい作用による飲み薬の糖尿病薬が、10年ぶりに発売されました。また4月には注射薬でも新しい作用による薬剤が発売予定です。これらはともにインクレチンという消化管ホルモンの働きを利用することで、低血糖を起こさずに血糖を低下させます。さらに、血糖低下を担うインスリン分泌細胞(膵β細胞)を保護する可能性、また、注射薬では体重減少効果に期待が寄せられています。

インクレチンの働き—消化管に栄養素が入ってきたときに分泌される消化管ホルモン、GLP-1とGIPがインクレチンです。新しいタイプの糖尿病治療薬は、図中の○印の働きを増強させることで作用します。



(記：内分泌・代謝科 准教授 中川 淳)

## 部位別がんの克服シリーズ①

# 悪性リンパ腫

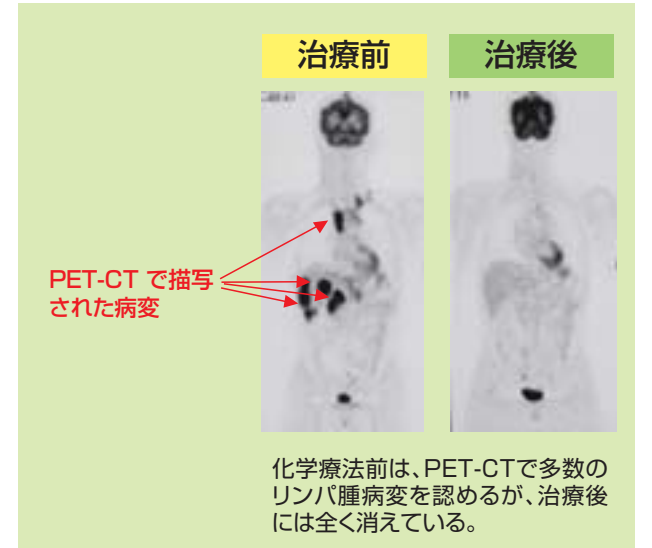


血液・リウマチ膠原病科  
教授 梅原 久範

## 1 悪性リンパ腫とは

血液細胞の一種・白血球の一部である「リンパ球」という細胞が腫瘍化した(がん化した)病気で、身体のおちこちで塊(腫瘍)を作ります。

悪性リンパ腫はさらに「ホジキンリンパ腫」と「非ホジキンリンパ腫」に分けられます。腫れている組織(リンパ節など)をとってきて顕微鏡で観察し、非常に大きな「ホジキン細胞/リードステルンベルグ細胞」と呼ばれる特殊な腫瘍細胞がある場合に「ホジキンリンパ腫」とよび、それらの大型腫瘍細胞がない場合には「非ホジキンリンパ腫」とよびます。悪性リンパ腫は更にWHO分類という病理学的分類によって、非常に多種類の病型に分類されます。



## 2 悪性リンパ腫の発生率は?

日本では1年間に数千人の方が発症しており、近年増加傾向にあります。日本では、ホジキンリンパ腫は悪性リンパ腫全体の1割程度を占めるにすぎず、大部分が非ホジキンリンパ腫です。

## 3 治療方針

悪性リンパ腫は全身のどこからでも発生します。発生部位は異なっても血液細胞の腫瘍であり、治療法の選択や投与方法および副作用対策などが複雑なため、当院ではLCT(リンパ腫コントロールチーム)という全診療科が共同するチーム診療体制をつくり、血液・リウマチ膠原病科が中心となって治療を行います。

治療方針は、主に病理組織型(悪性度)、病期(ステージ)、発生部位などの要素から決定します。大部分は化学療法(抗がん剤治療)が中心ですが、病型や病期によっては放射線治療や外科手術を行うこともあります。診断時に身体中に広がっていることも多いのですが、良く効く抗がん剤や副作用を抑える支持療法の発達により、寛解率(治療により一時的にでも病気が消える確率)や治療率が劇的に向上しています。「悪性」であっても、きちんと治療を行えば良好な効果が得られますので、主治医によく相談してください。

(記：血液・リウマチ膠原病科 准教授 正木 康史)

21世紀集学的医療センター特集 Ⅰ

# 集学的がん治療センター

## がん治療は進歩しています

今ではよく知られていますが、がんは死亡原因の第1位であり、日本人は一生の間で約2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで亡くなっています(2007年度統計から)。一方、手術・放射線治療・抗がん剤治療(化学療法)などを適切に組み合わせることで治療成績が向上しています。

## 集学的がん治療センターについて

2005年10月にオープンした集学的がん治療センターは、抗がん剤を用いた外来治療に特化している診療科です(一部、がん相談やがんではない患者さまも通院されています)。新規抗がん剤や分子標的薬剤の登場などで治療の有効性が上がり、副作用についても症状を軽減できる薬剤により外来にて安全に治療を行うことが可能となりました。

外来通院はあるものの、今までと大きく変わらない家族との生活を過ごせることで、患者さまの生活の質を落とさないことが最大のメリットです。多くの診療科と連携しており、各診療科での診療を継続しながら、外来化学療法に関しては当センターが担当します。

がん薬物療法専門医やがん看護専門看護師もスタッフに入っており、抗がん剤を用いた治療をより安全に効果的に実践できるような環境をチームで整えています。

## 遠隔診療

当センターでは2009年春より、総務省のモデル事業として公立穴水総合病院とネットワークを構築し、遠隔診療を実施しています。パソコンの画面を介して、双方の医師と患者さまが顔を見ながら会話ができるので、地元にいながら検査値の確認や治療方針の決定ができます。通院回数が減ることで、患者さまの負担が軽くなります。



(記：集学的がん治療センター 助教 中谷 直喜、教授 元雄 良治)

## 私の健康法を紹介します

### 私の健康法①

**私**は皮膚科医ですので皮膚の健康法についてお話しします。  
冬は皮膚の乾燥が進み、痒みや湿疹が生じます。そこで入浴では痒みが出ないように熱い湯は避け、角質に傷をつける垢すりタオルも避けています。石鹸は使いますが、手で泡立てて気になる部分を撫でる程度に洗っています。足底のかさつきも気になりますが、軽石はかえって角質増殖の原因になるため使いません。入浴後はまだ皮膚が潤っているうちに保湿剤を使っています。夜間はぬるめの湯たんぽを愛用しています。今ひとつは紫外線対策です。特に紫外線が強い3月から10月は皮膚がんの原因になる直射日光をなるべく避け、帽子やサンスクリーンを使用しています。冬でも盛夏の半分程度の紫外線が降りますし、しわの原因になる長波長紫外線は曇りの日でも地上に降り注ぎますので1年を通じて帽子は必需品と考えています。(記：皮膚科 教授 望月 隆)



### 私の健康法②

**2**年前の秋、病気で1カ月半入院しました。その後約1カ月の自宅療養を経て仕事に復帰しました。病気の原因を今振り返ると、その年は家の改築・研修・書道の試験と私的行事が重なり、年齢の自覚もなく、無茶をした結果だったと思います。それらに加えて友人達と美味しい店巡り。運動量・新陳代謝の低下にもかかわらず食事量の増加が肥満に拍車をかけました。体重増加の症状は息切れと動悸でした。体力の過信が取り返しのつかない人生を招く一歩手前でした。退院時に食事指導を受け、その年ダイエット目的で6月半ば頃よりウォーキングを始めました。

目標体重を自分なりに決め、毎日体重測定をすることにしました。栄養指導のとおり3度の食事を作り、それを携帯電話に写し記録、時々それを確認することにしました。果物は朝、間食を絶ちました。夜は野菜中心の食事に心掛け18時以降、水分以外は口にしないように努めました。ダイエットに成功した方々から話を聞き自分を励まし、ダイエット番組はかかさず見るようにしました。現在6kgのダイエットに成功しましたが、あと数kgの所で足踏みをしております。雪も消え暖かな季節がもうすぐやって来ます。昨年お見かけした名前も知らないウォーキング仲間の皆さまに会える日も近づいて来ます。



しかし、私が最も心掛けていることは生活の中にささやかな楽しみを一杯作ることです。愉快で極楽トンボのような友人達と涙が出るほど笑うことです。春は私の出番。家庭菜園に山菜とり。各地の道の駅巡り。市場巡り。立ち寄り入浴施設巡り。趣味の書道などなど、心のリフレッシュが健康に繋がると信じています。自然と触れ合い、尽きない草木の息吹や匂いはどこかなつかしく癒されます。このような楽しみが心の健康を作り身体の健康をもたらすと思います。笑いは、健康生活に欠かせない一番の秘薬だと信じています。(記：別館6階病棟 看護師長 清水 由美子)

## お知らせ

# 病院内に病児保育室 **すまいる** を開設しました。



### 病児保育とは

病児保育とは、入院するほどではないが、急病などで一般の保育施設(幼稚園、保育所等)や学校で過ごすには病状が回復していない病気のお子さんをお預かりするものです。

### 受け入れ対象とする病児の範囲

入院を必要としない程度の病気やケガで、かかりつけ医の許可がある場合に限ります。内灘町在住で、生後6か月から小学校3年生までのお子さんが対象です。  
※流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、麻疹にかかっている場合はご利用いただけません。

**受け入れ対象者** 教職員及び内灘町在住者の児童

**対象年齢** 生後6ヶ月から小学校3年生

**収容定員** 6名

**保育時間** 月曜日～金曜日の8:00～18:00

※休室日：土曜日、日曜日、祝祭日、本学開学記念日(6/1)、旧盆(8/15)、年末年始(12/29～1/3)

**保育料** 1日2,000円(税込、昼食・おやつ代込み)

**開設場所** 病院第二新館玄関横

詳細については本学病院のホームページをご参照願います。  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/>

問い合わせ・申し込み先

病児保育室 直通電話 218-8059

感染症特集①

# クラミジア感染症について

クラミジアは男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎を主な症状とする、現在最も広く蔓延している性感染症です。若い人、特に女性では16～30歳までに圧倒的に多くみられます(図1)。若年者はセックスパートナーの数が多く、性感染症に対する意識が乏しいことなどがその理由でしょう。自覚症状のない感染が将来の不妊症や子宮外妊娠につながる危険をもちんでいます。

感染経路ですが、図2の通り、女性では膣から上行性に腹腔内へ侵入します。オーラルセックスにより、女性の咽頭から病原体が検出されることもあります。一方男性では排尿により、感染があっても検査が陰性になることがあります。

症状は一般には無症状のことが多いとされていますが、実際には表1のように、女性の1/3は帯下(おりもの)を訴えます。その他、腹痛・出血などがあります。男性の尿道炎は淋菌による尿道炎よりは軽い症状のことが多いですが、よく使われるペニシリンなどはクラミジアに効かないため、薬を使ってもなかなか治らないと感じることが多いようです。性感染症の特徴でパートナーが感染している場合の検出率の高いことも見逃せません(ピンポン感染)。産科領域では、流早産になったり絨毛膜羊膜炎によって前期破水をきたしたりします。分娩時のクラミジア感染では、産道感染により新生児肺炎や新生児結膜炎を発症します。

診断は、女性は膣分泌物の検査で、男性は尿による検査で確定します。

クラミジアには有効な抗菌薬があります。ただし、咽頭クラミジアは薬剤の到達も不十分で治癒しにくく、投薬期間が長く必要なケースもあります。また、感染が確認された場合、パートナーの検査と治療も重要です。必要な場合には男女同時に治療を受け、感染が治癒するまではセックス(性交)をしないか、もしくは感染予防のためコンドームを使うようにしましょう。治療終了後、2週間以上経過してから完全にクラミジアがいなくなった確認の検査をして、病気が治ったことをパートナーとともに祝福しましょう。

(記：産科婦人科 講師 岡 康子)

図1 全性感染症年齢別罹患率の男女比較

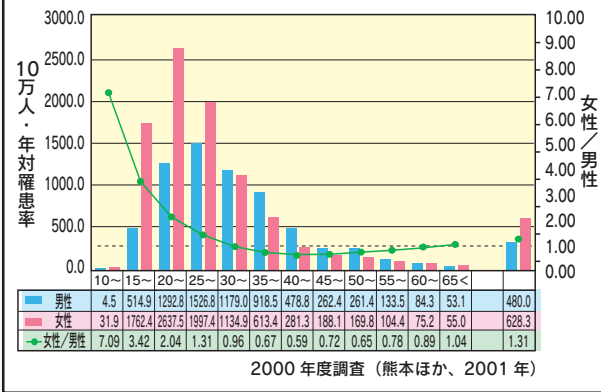


図2 クラミジア・トラコマトイスの感染経路

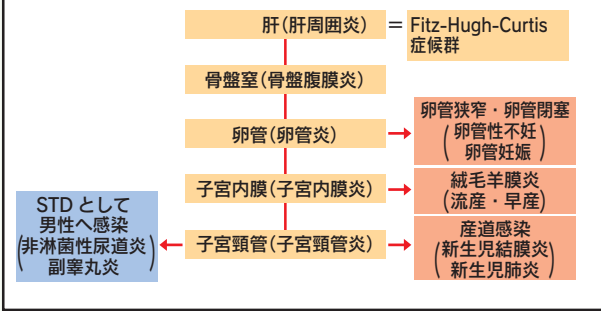


表1 クラミジア頸管炎(PCR検査陽性)患者の主訴

●帯下(細菌性室炎合併例を含む)	52(33.3%)例
●パートナーが感染	15(9.6%)例
●中絶希望	45(28.8%)例
●STD検査(性風俗業従事者を含む)	16(10.3%)例
●妊娠健診(10~14週)	14(9.0%)例
●その他(下腹痛、出血など)	14(9.0%)例
	156(100%)例

愛知県加納病院(2001年4月~2002年6月)

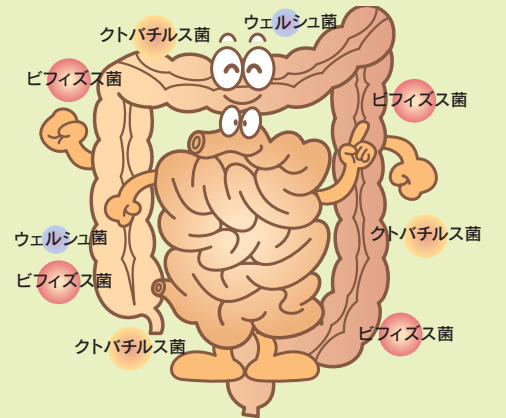
(日本産婦人科医会研修ノートより)

# アンチエイジング⑤

このコーナーでは、昨年度より、栄養面からのアンチエイジング(老化防止)をテーマに様々な情報を紹介してきました。今年度も、引き続き、アンチエイジングをテーマにお話ししたいと思います。今回のテーマは、腸の老化防止です。

## 腸のアンチエイジングで免疫力アップ!

腸は血管同様に加齢による変化が大きく、壮年期以降ではビフィズス菌などの善玉菌が減り、ウェルシュ菌などの悪玉菌が増えることで、腸管の免疫力が低下し、腸の老化が進みます。また、便秘やがんなどの生活習慣病のリスクも高まります。腸の老化防止や免疫力の向上のためには、食物繊維やプロバイオティクスと言われる乳酸菌を充分にとり、腸内細菌のバランスを整える必要があります。



## プロバイオティクスとは?

最近耳にすることが多い、プロバイオティクスとは人に有益な微生物(菌類)のことです。代表的な菌にはビフィズス菌やラクトバチルス菌などがあります。こうした菌類は腸内の環境を改善する働きがあり、健康づくりのために役立ちます。また、人のために有益な働きをするには、食品などから安全にとることができ、生きたまま腸に到達して繁殖できる菌であることが重要です。代表的なプロバイオティクス食品には、ビフィズス菌やラクトバチルス菌を利用したヨーグルトや乳酸菌飲料などがあります。

## 腸の老化を招く食生活とは?

腸の老化防止や免疫力の向上のためには、食物繊維や乳酸菌などが有効であることをお話ししてきました。そのため、以下のような食生活を見直すことが、腸のアンチエイジング対策につながります。

- 朝食は摂らないことが多い。  
※食事の欠食は食物繊維など栄養素の不足を招きやすい。
- 主食のご飯は食べないで、主菜の肉や魚だけ食べる。
- 野菜や果物は苦手でほとんど食べない。  
※野菜や果物は食物繊維を多く含む食品である。
- ヨーグルトなど乳製品は摂らない。
- 野菜は食べるが、サラダなど生野菜でしか食べない。  
※野菜は火を通すことでかさが減ってたくさんの量が食べられ、食物繊維も多く摂取できる。
- 外食中心で、カレーやラーメンなど単品メニューを選ぶことが多い。



(記：栄養部 管理栄養士 木村 律子)